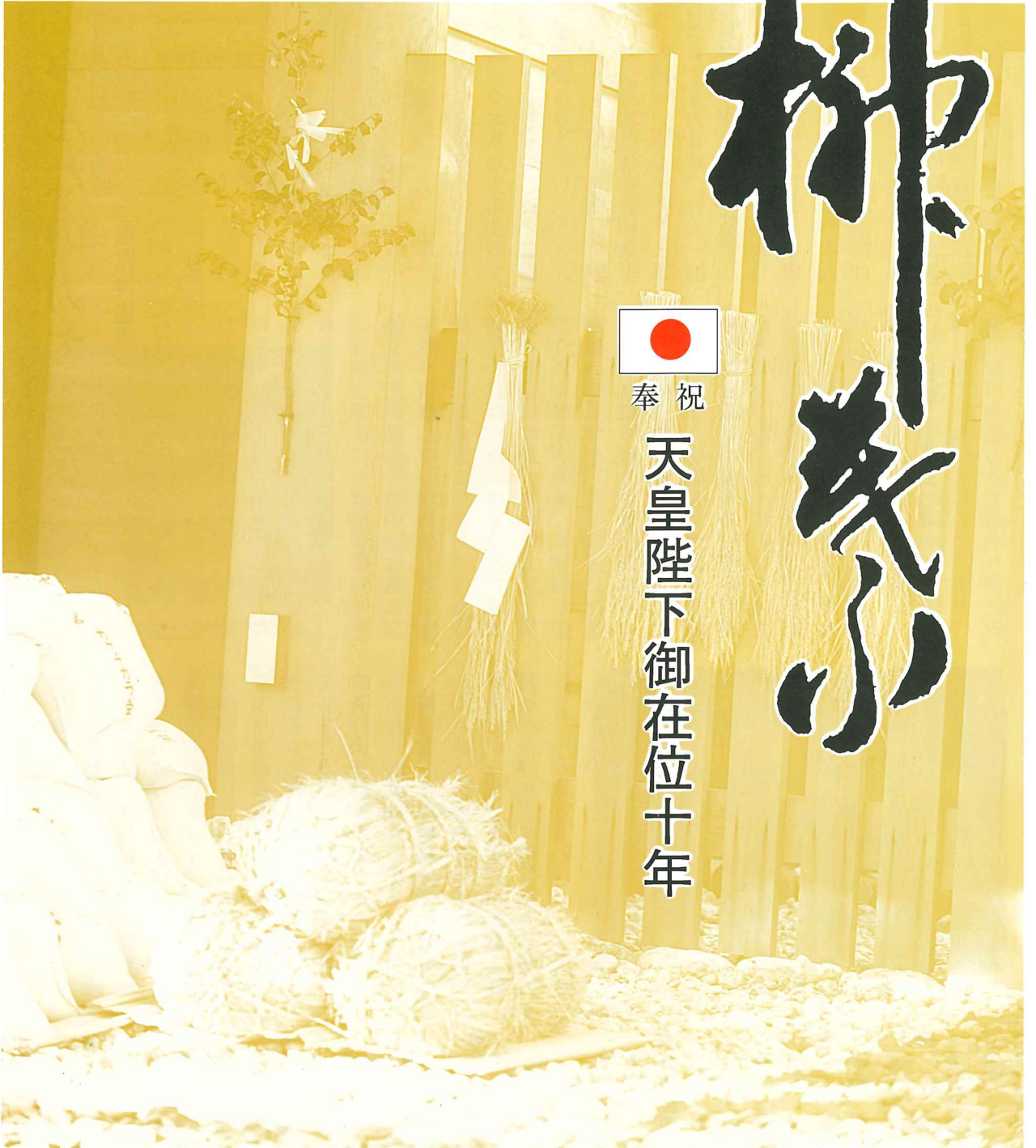


神 代



奉祝

天皇陛下御在位十年



写真撮影提供 神宮司庁弘報課

三重県神道青年会報 第24号

「みんなの力で」

三重県神道青年会

会長 種村 睦



今上陛下、ご在位十年の佳き年を迎え、心よりお祝い申し上げます。すとともに、ご皇室の益々のご繁栄をご祈念いたします。

日頃より、三重県神道青年会の活動に、ご理解ご協力頂きまして、誠に有難うございます。役員一同になりかわり、御礼申し上げます。

東海五県当番県(教化研修会)、パラオ慰霊友好団など、次々と立派な功績を残され、会員からの人望も篤く、そのユニークな話術により指導力に優れた、村尾前会長より後任としてお引き受けしたものの、伝統ある三重神青の会長の大役が、私などにとまるだろう

かと大変に不安なスタートをして以来、役員諸兄の積極的な協力により、無事一年が過ぎようとしております。

今期は、特に大きな事業も殆ど無く、「会員の和」を中心に考え、事業の見直しをし、今後の若い会員に魅力ある楽しい会づくりを進めていけば、と言う楽天的な考えでありましたが、平成十一年には、設立五十周年を迎え、本年はその準備の年となり、今一度輝の紐をしっかり絞め直し会務にとりくまんと奮い立っております。

平成も十年を数えぬまじき技術発展を遂げ、多量の情報が飛びかう時に、設立五十年という大きな節目を迎え、次の十年、二十年へとつなげる事業を始めていかなければならない時期ではないかと深く感じます。

当会は、会員数においても全国的に見て大きな会の一つであり、神宮様のお膝もとでもあり神社界

の中心である、といっても過言ではないかと思えます。しかし、この十年を振り返ると、最近の諸行事への参加会員の減少には著しいものがあり、次の十年を考えると大変不安に思えます。神職を志して神明に奉仕し、地域のリーダーシップを取るべき会員の皆様は、それぞれに優れたところをそなえていると思えます。その優れた力でよりよき会にしていこうではありませんか。

神青は、この神社界で、最もコミュニケーションのとりやすい団体です。一人でも多くの会員の諸行事への参加をお待ちしています。



新年の参拝を終えて

役員紹介

- | | | |
|---------|-------|---------|
| 会長 | 種村 睦 | 金井神社 |
| 副会長 | 葦津健次郎 | 神宮 |
| | 福田 和人 | 二見興玉神社 |
| | 榊林 重成 | 多度大社 |
| 総務広報委員会 | 上坂 省一 | 神宮 |
| | 原 忠照 | 八阪神社 |
| | 嵯峨井和風 | 鎮国守国神社 |
| | 内保 隆幸 | 比々岐神社 |
| | 中里 貴彦 | 頭之宮四方神社 |
| 教化研修委員会 | 平野 直裕 | 多度大社 |
| | 中野 雅史 | 三重県護国神社 |
| | 三輪 和平 | 神宮 |
| | 加藤 順久 | 榊大神社 |
| | 長井 達弥 | 敢國神社 |
| 渉外福祉委員会 | 山路 太三 | 磯部神社 |
| | 藤林 茂樹 | 猿田彦神社 |
| | 嶋津 宣史 | 神宮 |
| | 福本 孝臣 | 野辺野神社 |
| 監事 | 伊藤 智 | 三重県護国神社 |
| | 波多瀬秀之 | 松阪神社 |
| 顧問 | 増田 秀樹 | 耳常神社 |
| | 村尾 憲一 | 飛鳥神社 |

ご在位十年を寿ぎ

平成の御代も十年目を迎えました。本会は、今上陛下ご在位十年をお祝いし、先輩方の神青活動の思い出話と写真によって平成の御代をしばし振り返ろうと思えます。

榊大神社権宮司 山本 行恭 (第十五代会長)

世紀の大転換期であった平成元年。三百萬人余の御記帳虚しく昭和天皇が崩御され、国の内外を問わず騒然たる動きの中、四月の総会席上で重かつ大なる使命を持って第十五代会長を拝命。

御代がわりと共に我々青年会にも大変な節目となった年であった。



先ず神宮に於ける第六十一回式年御遷宮を控えての大きな行事である「宇

治橋渡始式」に於いて、全国の参加者をお迎えする責任と式を側面的に支えさせていただく奉仕には、多忙な会員が揃ったの参加で心一つに結び合い、確かめ合う事が出来たのを皮切りに、前村田会長よりの懸案であった「創立四十周年記念大会と記念事業」に対しては、各委員会とも連日深夜に及ぶ検討と協議の末、歴代諸先輩を始め全会員の協力の元、盛会裡に閉じさせて戴くことが出来た。



平成2年 創立40周年記念大会

また、天皇陛下御即位の御大典奉祝と共に、皇紀二千六百五十年という節目とも合重なり、宮崎県を出発した御神火行進には、小雪舞う中、県境での引き継ぎと、無事神宮に奉載。夜を徹しての御護りと、熱田神宮へのバトンタッチ。同時に私自身神青協の役員を兼務した関係上、檀原神宮での皇紀二千六百五十年大祭の奉仕等をはじめ、枚挙にいとまぬ程の諸行事であった。

顧みれば、正に世の様がわりに相応しい時期であったが、会員は何一つ苦言を云わず、黙々と奉仕に向かってくれた事は、事業以外に得られた宝であると感謝した。

時の流れの早さに目を見張りつつ、就任以来既に十年を経た今、御即位十年の大事業もあり、会にあっては創立五十周年の折り返しを迎える時、斯界に身を置く者として世相の是正と各家庭でのまつりを中心とした心の絆を明確にするのが先決であると信ずる。「中今」と「常若」の精神は如何なる世に成っても日本人という自覚のもとに、絶対忘れてはならないもの。貴会々員の再結束と今後大きな旋風を吹かして頂きたい。

平成 主な出来事

- | | | |
|---------------|--------|--------------------|
| 平成元年 | 一月七日 | 明仁親王殿下下踐祚大喪の礼 |
| | 二月二四日 | 消費税スタート |
| | 四月一日 | 天安門事件 |
| | 六月四日 | 東海五県教化研修会 |
| | 九月一日 | 宇治橋渡始 (松本市) |
| | 十一月三日 | 宇治橋渡始 (松本市) |
| 平成二年 | 二月六日 | 御神火行進 |
| | 二月二二日 | 神青協中央研修会 (金沢市) |
| | 三月二二日 | 山口県神青との合同視研修会 |
| | 四月二三日 | 武蔵野御陵参拝 |
| | 六月三日 | 神青協創立四〇周年記念大会 (東京) |
| | 八月二日 | 三重県神青四〇周年記念大会 (津市) |
| | 九月三日 | イラク軍クエート侵攻 |
| | 九月二六日 | 東海五県教化研修会 (榊大神社) |
| | 十月二日 | 紀元二六五〇年奉祝式典 (檀原神宮) |
| | 十一月二日 | 即位のご大礼 |
| | 十一月二二日 | 大嘗祭 |
| | 十一月二七日 | 神宮御親詣 |
| | | 御大典奉祝三重県大会 (伊勢市) |
| ★バブル崩壊 (平成三年) | 二月二三日 | 立太子の礼 |
| | 三月五日 | 神青協中央研修会 (高松市) |
| | 四月二四日 | 海上自衛隊 |
| | 六月三日 | ペルシヤ湾派遣 |
| | 六月九日 | 雲仙・豊岳大火噴流発生 |
| | 八月八日 | 野村証券損失補填 |
| | 八月八日 | 神社関係スカウト |
| | 八月一九日 | 全国大会 (伊勢市) |
| | 八月一九日 | ソ連クーデター |
| | | ゴルバチョフ辞任 |

耳常神社宮司 増田 秀樹

(第十六代会長)

平成五年(六年)

今上陛下御在位十年を心よりお慶びお祝い申し上げます。私の会長任期中は、歴史的に極めて重要な年であったと思います。皇太子殿下御成婚奉祝事業では、私が提案申し上げた奉祝記念「花の種」と神宮御参拝並びに全国育樹祭御臨席奉迎チラシ等を近鉄線主要駅にて配布し、又県奉祝委員会で、神社関係者が結束して自動車パレードを行い、奉祝ムードを県民に訴え国旗を掲げて慶祝の誠を捧げました。



平成5年神宮式年遷宮(外宮)

第六十一回神宮式年遷宮では、昭和六十一年の御樋代木奉曳警護

より一連の行事に参画し、遷宮祭中心の大儀「遷御の儀」には全国の奉拝者の案内役を仰せつかり特別席にて奉拝の夢も叶い、外宮では、地元会長として遷宮奉仕の出仕を命ぜられ、川原大祓・大宮司松明所役と映えあるご奉仕をさせて頂きました。

神青協中央研修会では、神職の原点を見つめ直すべく神宮研修会として実施され、次なる遷宮を担う我々は神宮への思いを一層深め、神明奉仕の原点は神宮に通じ、更なる神宮ご奉仕を誓い、又これまでの三回の遷宮は、民間によって斎行されたが、神宮は国の固有財産として、国家行事としての遷宮制度の抜本的な是正と皇室の正常



チャリティバザー(結城神社)

化の為に、国民運動を展開する事が重要課題であり、如何に実践するか、試練を与えられたように思います。

青年神職として、共に汗を流し苦勞したチャリティバザーや阪神大震災復旧活動は、世の為、人の為に幾等かお役にたてた喜びと成し遂げた充実感に満足しておりますし、貴重な体験で社会奉仕の精神と大切さを改めて実感しました。神青時代に培った絆は私の生涯の財産と思っております。



阪神大震災復旧作業奉仕(若宮八幡神社)

終りに御皇室の弥栄と三重神青の益々のご発展とご活躍をご祈念申し上げます。

飛鳥神社宮司 村尾 憲一

(第十七代会長)

平成七年(八年)

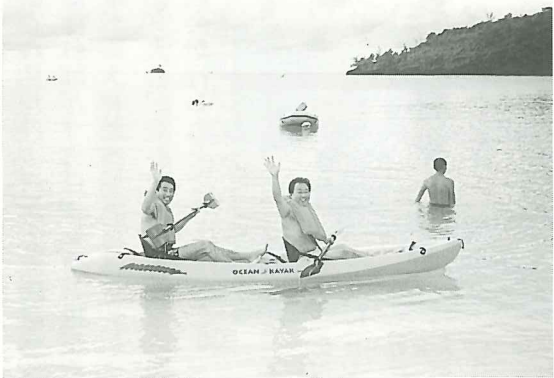
平成の御代十年を迎え、皇室の益々の弥栄を壽ぎ奉ります。



平成7年 東海五県教化研修会(四日市市)

冬期五輪が長野の地で開催され、日夜熱戦が繰り広げられております。毎日寝不足になりながら日本選手に声援を送っているのは私だけではありますまい。その甲斐あってか日本の活躍めざましく、国旗日の丸がメインポールにはためき、君が代が聞こえ感涙にむせびました。殊の外、「日の丸飛行隊」と呼ばれるジャンプ

陣の活躍は各新聞の一面を飾りました。白馬の青空に向かって飛び立つ選手、その下には彼らを応援する幾万もの人達、手に手に日の丸を持ち、ある人は声高らかにある人は黙想しながら……。同じ様な光景が五十年前にもあったのです。目的は違っても願いは同じ「ガンバレ日本」「勝ってくれ日本」心よ届けと打ち振られる日の丸に送られながら、祖国



を遠く離れた戦地に向かわれた若人等、無念にも南の島々に散華された御霊に対し慰霊の誠を捧げようと、一昨年の秋に三重県内の遺

族の方々と「パラオ慰霊友好団」を結成し、現地の人達との交流と慰霊の旅に参りました。時期正に日本のまほろば神宮さまの御鎮座二千年の佳節に当たり、パラオ共和国と三重県が姉妹提携を結び、終戦五十一年目に行なわれた、三重神青として初めての海外慰霊祭は、私にとっても参加した会員等にとっても良い経験になったのです。



パビリュー島平和記念公園にて

今後の神青活動の益々の隆盛を祈り上げますと共に、日本の誇り、素晴らしさを伝えられる活動を願ひ上げます。

九月 五日 東海五県教化研修会(名古屋市)ソ連消滅

十二月二日

平成四年

三月 五日 御遷宮・禊研修会

四月 七日 神青協中央研修会

八月 二八日 金丸副総裁辞意

九月 七日 東海五県教化研修会

九月 一七日 カンボジアへ

十月 二三日 天皇 皇后両陛下

三月 四月 神青協中央研修会

四月 二三日 天皇 皇后両陛下

五月 一五日 沖繩御訪問

六月 九日 Jリーグ開幕

七月 二日 皇太子殿下結婚の儀

八月 二八日 北海道南西沖地震

八月 六日 奥尻島で津波被害

八月 二日 細川首相誕生

九月 一〇日 米不足 緊急輸入

平成六年

三月 八日 神青協神宮研修会

三月 二九日 天皇 皇后両陛下

五月 一日 神宮御参拝

六月 二九日 F1セナ事故死

九月 七日 村山内閣誕生

九月 一三日 東海五県教化研修会

平成七年

一月 二七日 阪神大震災

三月 七日 震災復旧作業奉仕

三月 二〇日 (神戸)若宮八幡神社

八月 二四日 地下鉄サリン事件

九月 五日 Windows95発売

九月 二三日 東海五県教化研修会

九月 二三日 千年の森シンポジウム(皇大)

平成八年

二月 一六日 HIV感染で

二月 二六日 厚相謝罪

五月 一〇日 住専処理に

七月 二〇日 税金投入予算成立

九月 九日 堺市でO157発生

九月 二五日 東海五県教化研修会

十月 二五日 パラオ慰霊友好団

十月 二〇日 皇大神宮御鎮座二

十月 二七日 千年奉祝行事

十二月 二七日 小選挙区制初選挙

平成九年

一月 二日 日本海重油流失事故

三月 五日 神青協中央研修会

四月 二七日 消費税五%

五月 二七日 神戸児童殺傷事件

七月 九日 香港返還

九月 九日 東海五県教化研修会

十一月 一六日 凶悪犯罪多発

十一月 二四日 日本サッカー

十二月 一六日 W杯出場権を獲得

十二月 一六日 山一証券自主廃業

十二月 一六日 ポケモン騒動

十二月 一六日 総会屋への利益供与と金融破綻

定例総会

平成八年度定例総会が四月八日神社庁会議室にて村尾会長以下役員、会員二十二名、来賓一名の出席にて開催された。

開会の辞に続き、神殿拝礼、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和、会長挨拶の後、来賓の森本神社庁担当理事より祝辞を頂戴し、その後福田理事を議長に選出し議事へと移った。まず会長より八年度会務報告、事務局より会計決算報告、監事より会計監査報告、嵯峨井理事よりパラオ慰霊友好団決算報告、監事より会計監査報告、事務局よりパラオ慰霊友好団会計決算差引残金の処理案が提示され、夫々承認された。

次に村尾会長任期満了に伴う役員改選が行われ、新会長に種村副会長、監事に伊藤副会長、波多瀬理事が推薦され、副会長には葦津理事、福田理事、榊林理事が指名され、各地区よりブロック理事が選出、会長指名理事が十名指名され承認を受け、新役員を代表して種村新会長より挨拶があった。

(原 記)

新入会員歓迎会

神道青年会の新会員を歓迎してさる六月九日「新入会員歓迎会」が行われた。当日は午後三時から津グランドボウルにおいてボーリング大会、続いて午後五時から懇親会が行われた。



ボーリング大会の一コマ

ボーリング大会では開会式のと各レーンに分かれ、和やかな雰囲気の中、ゲームが進められた。この日の最高得点は種村会長。新入会員は惜しくも二位以下に並んだ。ゲーム終了後、会場を津市内の居酒屋「友遊」に移し、ゲームの成績や新入会員の抱負を話題に楽しい酒宴となった。(嶋津 記)

親睦会

去る、十月二十七日、会員親睦会が種村会長以下総勢十三名(内OB三名)の参加のもと開催された。今回、初の試みとなったゴルフコンペ。会場となった伊勢温泉ゴルフクラブでは、四パーティに分かれ、緊張と笑いの中、続々とスタート。

コースは十六ホールパー五十のショートコース。ゴルフ初体験者も入り混ったのプレーに好プレー珍プレー続出。皆大はしゃぎ。いっそう親睦気分も盛り上がった。スコアの方も一打を競う大熱戦。種村会長と西尾先輩が同スコアでホールアウト。ヒゲの頭(会長)も西尾先輩に敬意を表し勝利を譲った。プレー終了後は会場を移動し、更に懇親を深めた。

(福田 記)



尚 結果は左記の通りである。

優勝 西尾 拓也
準優勝 種村 睦
三位 福田 和人

会務報告

- 〈四月〉
 - 八日 平成八年度定例総会
 - 二二名出席 神社庁 卒業式
 - 二五名出席 津市内 神社総代会定例総会
 - 三四日 第四九回神青協定例総会
 - 六名出席 神社本庁
 - 二八日 第一回役員会
 - 一四名出席 神社庁
 - 〈五月〉
 - 一九日 第二回役員会
 - 一二名出席 神社庁
 - 〈六月〉
 - 二、三、四日 東海地区青年神職研修会
 - 八名出席 神宮会館
 - 六日 東海五県連絡協議会
 - 三名出席 静岡県
 - 九日 第三回役員会
 - 一四名出席 神社庁
 - 四日 第四回役員会
 - 一三名出席 神社庁
 - 〈七月〉
 - 四日 第四回役員会
 - 一三名出席 神社庁
 - 〈八月〉
 - 五日 第五回役員会
 - 一二名出席 敢國神社
 - 二六、二七日 第二回お宮の子供会
 - 一五名参加 敢國神社
 - 〈九月〉
 - 三、四日 神青協夏期セミナー
 - 五名参加 國學院大学
 - 九、一〇日 東海五県連絡協議会及び教化研修会
 - 一〇名参加 熱海市
 - 二五日 敬神婦人連合会定例総会
 - 一二名奉仕 神宮会館
 - 一〇日 第六回役員会
 - 一三名出席 伊勢市内
 - 〈一〇月〉
 - 一五、一六日 初穂刈
 - 二名参加 伊勢市内
 - 二七日 第七回役員会
 - 九名出席 神社庁
 - 親睦会
 - 一四名参加 久居市内
 - 〈十一月〉
 - 六日 三重県神社関係者大会
 - 一三名奉仕
 - 二六日 東海五県連絡協議会
 - 三名出席 静岡県

お宮の子供会

第二十一回を迎えた毎年恒例のお宮の子供会は、八月二十六日二十七日の二日にわたり、上野市一の宮の敢國神社(太郎館季幹宮司)において開催されました。昨年は〇157の異常発生により子供会が中止になったため、今年は県内各地より二十四名もの元気な子供たちが参加をしました。種村会長以下青年会員の奉仕により様々な行事が執り行われました。



早朝の禊体験 (岡八幡宮)

神社に集合した子供達は、先ず正式参拝、班編成のちそれぞれ自己紹介をして、目印である班旗を掲げました。その後、女子神職

会によるレクリエーションがあり楽しいひとときを過ごし、手作りのカレーライスを食べた後、庭燎の集いを行いました。暗闇の中松明でキャンプファイヤーに火が灯され、子供達はゲームや花火大会を楽しみ、おかげで就寝の時間になっても興奮が治まらず、なかなか寝つけないほどでした。翌日、子供達は真剣な面持ちで両親への手紙を書いていました。この後、ウインナー作りを体験できるモクモクファームへ行き、子供も青年会員も一緒に楽しく作り喜んでいました。敢國神社に移動した後、会長より修了証が授与され、二日間の日程を無事終了しました。(長井 記)

神宮大麻頒布促進運動

神宮大麻頒布促進運動の一環として、昨年十二月四日、員弁郡東員町の西桑名ネオポリス新興住宅団地において、大麻頒布を執り行った。

当日は、県神青会員、神宮会員総勢十二名が金井神社(種村睦宮司)に集合し、「大麻頒布が無事



に」と祈念して好天の現地に赴いた。二名を一組として、五組にわけ神宮大麻、大麻広報誌、前年度の実績表、地図を持ち出発。今回で七回目を迎えるだけに、会員はさらに心をひきしめ、一軒一軒隈無く丁寧に回った。

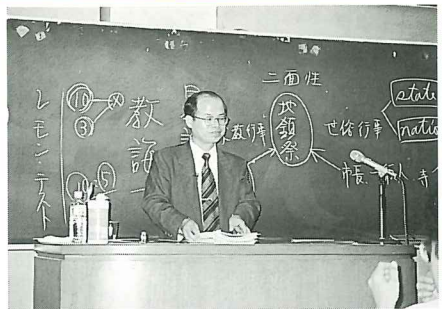
新興住宅地ということで留守宅もみうけられましたが、在宅されているご家庭においては、真心をこめて神宮大麻、神棚についてご説明申し上げることに、毎年うけられるご家庭は勿論、はじめてうけられるご家庭も大変多かったことは喜ばしい事であった。

ひとえに年を重ね心を交わせ続けてきた地道な活動がようやく実を結びつつあると団地の人々との会話から、そして有難い言葉を頂く事により、ひしひしと感じ受けた。(加藤 記)

神青協夏期セミナー報告

今夏で第九回目を迎える本セミナーは、九月三、四日の両日にわたり國學院大學において、主題を「愛媛県玉串料訴訟違憲判決をめぐる対応」として、百三十名余の参加者を得て開催された。

初日は開会式に引き続き、日本大学の百地章先生、國學院大學の阪本是丸先生、大原康男先生にそれぞれ専門のお立場よりご講義をいただいた。



方のご助言をいただき、積極的な論戦が交わされた。昼食をはさみ午後よりの全体会では、各分科会の報告を受け、さらに高度な質疑応答が交わされた。そしてレポーター提出後、閉会式において参加者

に修了証が授与され解散となった。あいにく小雨のぱらつく天気ではあったが、参加者一人一人が今回の判決に対し学ぶとともに、どのように対応し、かつ実践をしていくかを真剣に考え、討論した非常に有意義な、時宜を得たセミナーであった。(木本 記)

東海五県教化研修会

去る、九月九日、十日の両日静岡県熱海市のつるやホテルにおいて「東海五県道青年連絡協議会及び教化研修会」が総勢百四名(本県からは種村会長以下十名参加)のもと開催された。

九日、先ず、熱海市に御鎮座の来宮神社に集合し、正式参拝。ホテルに移動後、連絡協議会が行われる。その後、開会式。山本静岡県会長の挨拶、御来賓の方々の御祝辞を戴き、研修会へと移った。

研修会では、東海短期大学講師白鳥文字先生をお迎えし、「天地にしがたが、天地のままに 日本のあるところ」と題して、日本文化について御講演戴いた。日本をとりまく自然環境と、稲作が日本人の民族



翌日はMO美術館を見学し、美術館について

性に大きな影響を与えたこと等を、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教との比較等からわかりやすくお話しいただき、一同、熱心に御講演を拝聴した。夕刻からは懇親会で親睦を深め、一日目は終了した。

芸術について御講義戴いた。この美術館は岡田茂吉氏が「優れた芸術は人々の魂を浄化し、靈性を高め幸福に誘う」という信念のもとに建てられたもので、我々は見学し、絵画、書跡、工芸等の多くの芸術にふれ、魂を浄化することができた。見学終了後、閉会式が行われ、研修会は幕を閉じた。静岡県道青年会の心温まるおもてなしのもと東海の仲間たちと共に学び、共に過ごし、楽しいひとときを満喫し帰路についた。(内保 記)

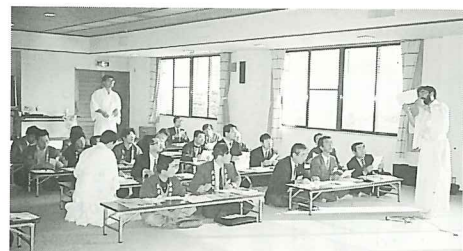
- 〈二月〉
- 四日 神宮大麻頒布促進運動 一二名奉仕
- 西桑名ネオポリス
- 一〇日 第八回役員会 一三名出席 神社庁 忘年会
- 二〇名出席 津市内
- 〈平成九年一月〉
- 二〇日 中央研修会実行委員会 二名出席 長野県
- 二九日 第九回役員会 一二名出席 磯部町内 新年会
- 一八名出席 磯部町内
- 二六日 第一〇回役員会 一〇名出席 神社庁
- 〈三月〉
- 五、 神青協中央研修会
- 六日 九名参加 横浜市
- 一四日 氏青・神青合同研修会 八名参加 神社庁
- 一七日 神宮・県神青合同研修会 伊勢国際ホテル
- 神宮二五・県一一名
- 二七日 東海五県連絡協議会 三名出席 静岡県
- 三一日 『榊葉』二四号発行

氏子青年協議会 合同研修会

去る、三月一四日三重県神社庁に於いて、氏子青年協議会(氏青)との合同研修会が開催されました。本年は第二土曜日という事もあり総勢三五名の参加者がありました。

今回の研修会では、氏青の方々のご要望により「神社の参拝作法と家庭祭祀」について、当会の会員が、氏青の人等に説明をするという形で会を進めました。

約二時間という時間をもらい、参拝作法、家庭のまつり、人生儀礼などの説明を行ない、途中、話だけではなかなか理解しにくいと思われる包み紙、紙垂については、実際にそれらを半紙を使い作成してもらいました。



当会の会員も、この様な機会が少なく説明に戸惑った面も有りましたが、無事終了することが出来ました。

研修会終了後、懇親会が催され相互の親睦を深めて無事研修会の幕を閉じました。(平野 記)

神宮道青年会 合同研修会

三重県道青年会と神宮道青年会との合同研修会が、去る三月十七日伊勢国際ホテルで開催されました。

合同研修会は、毎年交互に担当して開催されており、本年度は神宮道道青年会の担当で両会併せて約四十名が参加した。

今回は、「政教問題の現在―何が問われているのか―」をテーマとし、講師に政教関係のオピニオンリーダーともいえる國學院大學の阪本是丸教授をお迎えした。阪本教授は、政教問題は戦前す



でに存在していた事をあげて指摘。政教問題はすなわち国体に関する問題であると、神宮と靖国神社は

国家にとって現在も特別な存在であること、「反靖国」派の狙いは反天皇制であり、その究極の目標は明治以降形成された近代日本国家の破壊にあることを力説された。神社の歴史的意味を総括し、社人としての理想を地道に伝えてゆく努力の必要性を痛感する研修であった。(石垣 記)

神青協中央研修会

平成十年三月五・六日の両日に亘り、平成九年度神青協中央研修会が、神奈川県道青年会担当で、パン・パシフィックホテル横浜に於て行われた。当県は、種村会長始め九名参加。全国からは四八一名の参加があった。

今回の研修のテーマは「人生儀礼と家庭祭祀」我々青年神職が改めて原点に立ち返り人生儀礼と家庭祭祀の伝統護持の重要性を再認識する事を目的としているが、昨今の少年犯罪を思うに緊急のテーマでもあったようだ。五日は実践女子大学教授、三隅治雄先生の講



真剣なまざしで...

参加者はこれを真摯に受け止めたことであろう。神奈川県道青年会のおかげを持ち研修会は盛会裡に終了。次回開催の長野県にバトンタッチされた。お昼からは横浜中華街を散策。夕刻、各々土産を片手に帰途についた。(上坂 記)

ホリライメル の旅
近畿日本ツーリスト株式会社

津 支 店
 支店長 森 永 拓 爾

〒514-0042 津市新町1丁目13番12号津新町近鉄ビル
 団体分室 電話<059>227-5516番(代表)
 個人旅行 電話<059>228-4111番
 FAX<059>224-1527番

授与品奉製

伊勢の



三重県伊勢市岩渕二丁目5番29号
 (私書箱26号)
 TEL 0596-24-5858(代表)
 FAX 0596-24-5110

創業130年

各種御神符・守札
 その他授与品全般

漆御神符奉製所

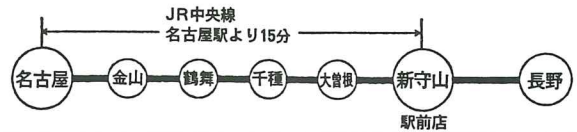


伊勢市神宮会館前(〒516-0025)
 TEL (0596) 22-2442(代)
 FAX (0596) 28-8445

社寺建築・設計施工 } 調整=御遷宮
 御装束
 御調度品
 鍔金具

神社・寺御用
株式会社 甲 村

〒463-0077
 名古屋市守山区大字守山市場111
 電話 <052>792-1202
 FAX <052>792-1293
 御来店は JR中央線新守山駅前店へ



会報「榊葉」

第24号

平成10年 3月31日
 発行者 種村 睦
 編集 総務広報委員会
 発行所 津市鳥居町210-2
 三重県神社庁内
 三重県神道青年会

編集後記

平成の御代も早十年。本号はご在位十年をお祝いし平成十年間を振り返りました。ご寄稿頂いた諸先輩の皆様には深く御礼申し上げます。今後も話題を提供できる会報にしたいと思えます。またご意見・ご寄稿がありましたら遠慮なくお申し出ください。

転任の記事

榊林重成副会長は三月二十日付を持ち真清田神社に転任、また福本孝臣理事も三月三十一日郷里の八幡神社に転任となりました。この場を借りて、神青会役員在任中のご尽力に感謝致すと共に今後のご健康とご活躍をお祈りいたします。

表紙説明

「神宮神嘗祭の懸税かけちかぎ」
 神宮神嘗祭及び新嘗祭には全国の農家から稲の束(懸税)がたてまつられ御正宮並別宮に奉獻される。
 天皇陛下には皇居内の御田でお作りになられた初穂を根の付いたままのお姿で神嘗祭に捧げられる。その初穂には紙垂が付けれられ祭典中内玉垣に懸けられる。
 (写真提供 神宮司庁弘報課)